

目次 Contents

- 1 巻頭言 理事長 上谷宏二
2023年新春の御挨拶

■ 4 GBRC ニュース

GBRC業務説明会開催のご案内

「GBRC建築技術セミナー SDGsへの取り組みに役立つ建築技術－実務におけるヒント－」
2022年度研修事業開催のご案内

■ 7 特別寄稿

自然災害から何を学んできたのか改めて振り返る

／緑川光正（北海道大学）

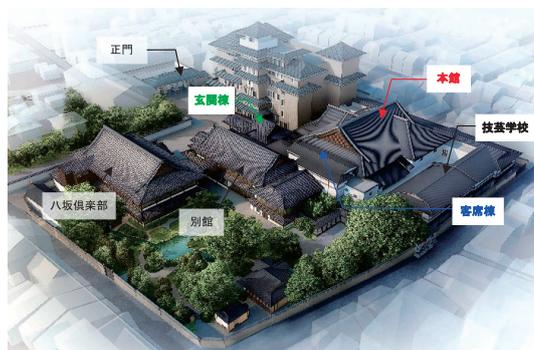
2023年新春号にあたり、建築物の安全・安心の確保に向けた思いを新たにすべく、日本建築学会副会長や建築研究所理事長などを歴任され、現在は、当法人の評議員にも就任頂いている緑川光正名誉教授に、寄稿して頂きました。国内での自然災害発生の歴史と耐震・防災関連の法令の変遷、今後想定される巨大地震の被害想定と建築物の地震後継続使用性に関する課題、寺田寅彦博士の随筆にみる防災・減災の温故知新など、幅広く執筆頂きました。

■ 13 技術報告

祇園甲部歌舞練場の耐震補強設計と施工

／西本信哉・坂口裕美・笹井弘雄・吉岡伸悟・山形有紀（大成建設(株)）

京都の春を彩る伝統芸能「都をどり」。その会場に永らく使われてきた祇園甲部歌舞練場は、耐震改修工事のため2016年から一時休館中でしたが、いよいよ2023年春に再開が予定されています。国登録有形文化財に指定されている歴史的な木造建築群への耐震補強について詳しくご紹介頂きました。



■ 25 技術報告

高炉スラグ微粉末の使用率を変化させた環境配慮型コンクリートの基本性能－CELBICの開発－

／古川雄太（東急建設(株)）、金子 樹、河野政典、高橋祐一

近年、環境負荷低減の目的から、セメントの一部に混和材を用いるコンクリートの開発と実用化が進められています。その中でも、高炉スラグ微粉末（BF）を用いる方法は、産業副産物を有効活用しCO₂排出量の削減にもつながる、有効な対策のひとつです。こうした環境配慮型コンクリートである「CELBIC」について、普通ポルトランドセメントにBFを10%～70%の範囲で混和した場合の性能検証実験の結果を、詳しくご報告頂きました。

- 33 **試験・研究**
高温加熱したコンクリート試験体の含水状態と電気抵抗の関係
／木野瀬透（建材部 材料試験室）・吉田夏樹、新 大軌、今本啓一
 - 41 **試験・研究**
先端翼付き鋼管杭の先端翼耐力に関する基礎的検討
（その2：弾性支承上の円板の場合）
／下平祐司（建築確認評定部）
 - 51 **研究速報**
樹種・密度が炭化のしやすさへ及ぼす影響に関する実験的検討
／今福康平（耐火部 耐火構造試験室）、小宮祐人、豊田康二、原田和典、鈴木淳一
 - 53 **テーマ解説**
設計用入力地震動の現状と課題
／中野富夫（構造計算判定部 審査課、数値解析室）
 - 61 **知っておきたい基礎シリーズ**
付着割裂破壊の解説②
／構造計算判定部 業務課・審査課
 - 64 **事業報告**
製品認証，性能評価完了案件，建築技術性能認証・証明，建設材料技術性能認証・証明，建築防
災計画評定，構造計算適合性判定（法定），超高層建築物評価シート，免震構造等建築物評価シー
ト，建築技術性能証明評価シート，建設材料技術性能証明評価シート
-
- 110 **センターだより**
試験研究センター
業務説明会開催報告「製品開発のための熱・建材試験設備利用の紹介」「建築物の維持保全に対
してGBRCとしてできることー既存鉄筋コンクリート造建築物の耐久性診断および火害診断に
おけるコンクリートの劣化深さ推定方法のご紹介ー」
[業務案内] 安全安心な循環型社会の構築を支える各種土質試験
 - 113 SiTeC (On-Site Testing of Concrete) コンクリート現場試験技能者認定制度 2022年度前期の登
録者について、LaboTeC (Laboratory Testing of Concrete) 試験要員認定制度 2022年度前期の
登録者について
 - 118 2022年度業務・研究報告会開催報告、外部機関からの表彰・受賞者の紹介、新入職員のご紹介、
組織の動き、研修情報
 - 121 室課紹介 / 耐風試験室
 - 122 機関誌『GBRC』2022年総目次、編集後記